

平成30年9月25日

保護者の皆様

札幌市立発寒南小学校

校長 村田 仁 司

「全国学力・学習状況調査」の結果について

初秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、今年4月に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」における本校の結果の概要についてまとめましたので、お知らせいたします。子どもたちのよりよい育成のために、学校と家庭で協力し、改善に努めていきたいと考えます。どうぞ、よろしく願いいたします。

学校と家庭での学習や生活の様子

生活面の質問事項から

- ・全国平均に比べて、自分には良いところがあると思う子がやや少ないです。
- ・全国平均に比べて、週に1から3回、新聞を読む子が多いです。
- ・全国平均に比べて、人の役に立つ人間になりたいと思っている子は、やや多いです。
- ・全国平均に比べて、地域の行事に参加している子は、少ないです。
- ・全国平均に比べて、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上読書する子が多いです。

学習面の質問事項から

- ・学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりに2時間から3時間勉強する子の割合は全国平均と同じくらいです。
- ・全国平均に比べて、家で学校の授業の予習や復習をする子はやや多いです。
- ・全国平均に比べて、算数が好きな子はやや多く、算数の授業内容が分かる子はやや多いです。
- ・全国平均に比べて、理科の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役立つ、と答えた子は、やや多いです。

この結果は、子どもの学習状況及び、それに関わる生活状況についてのアンケート結果の中から特徴的なもののみ掲載したものです。

生活面においては、起床時刻や就寝時刻、食事について規則正しく生活する傾向があります。学習面では、家庭で学習する時間があり、学習内容が分かる子が多いです。

さらに力を定着させるために、栄養のバランスを考えた食事作りをしたり、単位量当たりで値段を比べたりといった、学んだことを生活で使っていく取組を家庭でも考えていくことが大切です。

国 語

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

□「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の正答率は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「書くこと」の正答率は、全国平均とほぼ同程度である。

主として「活用」に関する問題(B)

□「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の正答率は、全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

●相手や目的、場面、状況に応じて適切に説明の仕方を工夫すること。

●登場人物の心情について、情景描写を基に捉えること。

●文や文章の中で、漢字を正しく使うこと。

●目的に応じて適切な質問をすること。

●文章全体の内容や構成を考えて推薦文を書くこと。

●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。

改善の方向性

○適切な場面を設定し、言葉を置き換えたり、内容や順序を考えたり、相手の理解の状況を確認しながら説明したりする活動の充実。

○登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して想像を豊かにしながら心情を読む活動の充実。

○読み方や字形に注意して繰り返し練習するにとどまらず、同じ音や同じ部分をもつ漢字との違いや、文脈の中での使い分けに着目する活動の充実。

○互いの立場や意図を考えて質問し合うために、質問の観点を明確にした活動の充実。

○目的や意図、相手、理由を明確にして推薦文を書く活動の充実。

○事実と感想、意見などを区別し、文章の内容を考えながら読む活動の充実。

算 数

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

□「数と計算」「量と測定」「数量関係」の正答率は、全国平均を下回っている。

□「図形」の正答率は全国平均と同程度であるが、やや上回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

□「数と計算」「量と測定」「数量関係」の正答率は、全国平均を下回っている。

□「図形」の正答率は、全国平均と同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

●数量の関係を的確に捉え、除数が1より小さい小数である場合でも除法を用いること。

●異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの込み具合の比べ方を理解すること。

●分度器を用いて、180度よりも大きい角の大きさを測定すること。

●示された考えを解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合うかを判断すること。

●示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量関係を記述すること。

改善の方向性

○問題場面の数量の関係の理解や計算の意味の理解を基に、演算決定することができるようにする活動の充実。

○込み具合の意味を実感的に理解できるようにする活動の充実。

○「角の大きさの見当をつける」、「角の大きさを測定する」、「角の測定の結果を振り返る」の活動を関連付けて、正しく測定する活動の充実。

○日常生活の問題の解決のために、情報を収集し、それらを表に整理して、条件に合う事柄について適切に判断できるようにする活動の充実。

○数量の関係を発展的に考察し、数学的に表現することができるようにする活動の充実。

理 科

本校の概要

【区分】

□「物質」「生命」「地球」の正答率は、全国平均を下回っている。

□「エネルギー」の正答率は全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

●学習を通して獲得した知識を、実際の自然や日常生活など他の場面に適用して考えること。

●予想が確かめられた場合に得られる結果の見通しをもって実験を構想できるようにすること。

●複数の実験結果を分析し、より妥当な考えをつくりだすこと。

改善の方向性

○主体的な問題解決を通して獲得した知識を、日常生活と関連付けて図や模型を用いて考えたり、説明したりする活動の充実。

○既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を立て、構想した実験方法が検証可能かどうかを検討し、結果まで見通しをもつようにする活動の充実。

○自分や他者の予想に基づいた実験結果の見通しを行い、複数の実験結果から多面的に分析し、考察するようにする活動の充実。